

<p>【技術の名称】 Y's プレピットⅡ -スラブにおける仮設開口用簡易型枠工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第20-13号 性能証明発効日：2020年10月21日</p> <p>【取得者】 矢作建設工業株式会社</p>
---	--

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造などのスラブに仮設開口部を容易に設置、閉塞するための仮設開口用簡易型枠工法である。仮設開口部長辺の凹凸部、仮設開口部とスラブの境界面に配置する鉄筋によって後打ちコンクリートとの一体化を図っている。また、脱型時作業の簡易化のために仮設開口部型枠の一部にラスを使用することも可能としている。

【技術開発の趣旨】

従来の仮設開口部の設置、復旧方法では施工性が悪く、手間やコストが掛かり、品質にもばらつきがある場合が多い。この課題を解消することを意図して容易に仮設開口部の設置、復旧が可能となる工法「Y's プレピット」(GBRC 性能証明 第16-18号)が開発されている。本技術は、「Y's プレピット」の改良工法として、ハーフPCaスラブへの適用や、仮設開口部の設置範囲の拡大など、適用範囲の拡大、および施工性の改良を目的に開発された。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。申込者が提案する「Y's プレピットⅡ 設計・製作・施工マニュアル」に従って設計・施工された仮設開口部を有する鉄筋コンクリート造スラブは、無開口スラブと同等の長期許容耐力、ひび割れ性能を有する。また、仮設開口部を閉塞するまでの施工期間においても無開口スラブと同等の性能を有する。

○適用範囲

仮設開口部周辺が現場打ち鉄筋コンクリート造であるスラブおよびハーフPCaスラブ、かつ、厚さ180mm以上440mm以下、短辺有効スパン長さ3,000mm以上の周辺固定スラブに適用。周辺スラブのコンクリートは設計基準強度 F_c が24N/mm²以上60N/mm²以下の普通・高強度コンクリートであること。

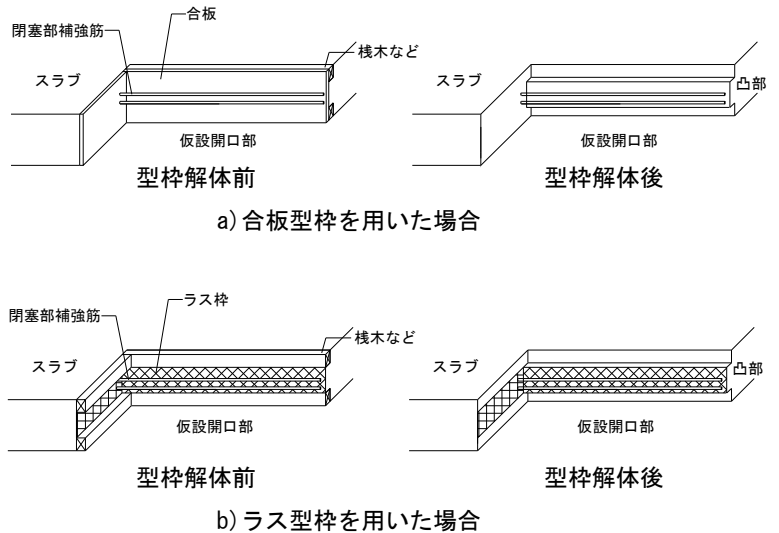


図1 仮設開口部部内に形成される凹凸部

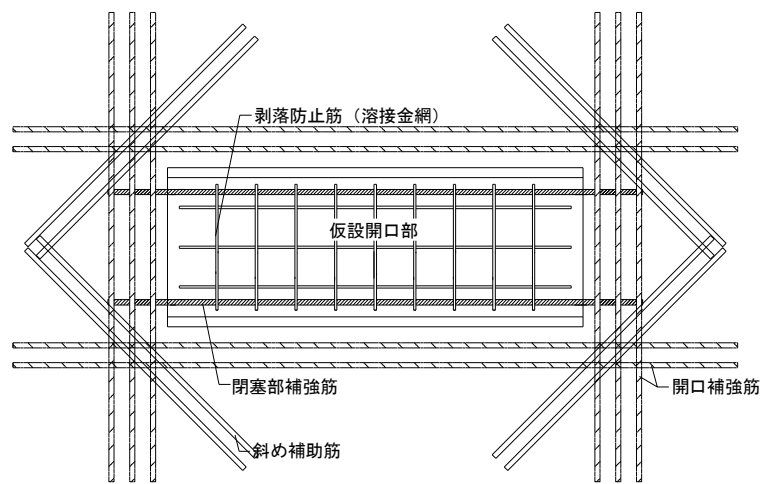


図2 配筋詳細

【本技術の問合せ先】

矢作建設工業株式会社 担当者：深津 尚人
 〒480-1342 愛知県長久手市茨ヶ廻間 1533-74

E-mail：n-fukatsu@yahagi.co.jp
 TEL：(0561)56-5828 FAX：(0561)56-5829